政策コメンテーター報告（第３回、意見照会期間：2014年10月24日～11月５日） 田澤　由利：株式会社テレワークマネジメント代表取締役

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	９月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ①　消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド ②　企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む） ③　輸出入の動向、交易条件の動向 ④　物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価） ⑤　マーケット（株価、為替、金利等）の動向	
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方は「産業創出」「企業誘致」等を実施し、地域での仕事づくりを推進してきたが、限界があるのも事実。早急に取り組むべきは、地方への「人材誘致」である。そこで従来に無い施策として、「ふるさと勤務」の推進を提案したい。『都心部の企業が、親の介護や子育て等で、地方への転居（U・Iターン）を希望する社員を、「テレワーク（遠隔勤務）」で雇用継続する』。これにより、故郷に帰りたい、地方に住みたい若者たちが、安定した生活のまま、地方移住ができる。都市企業からの給与を、地方で消費し、地方で子育てし、地方で社会参画することができる。また、都市企業も、今後深刻になる人材不足を乗り越える力をつけることが可能になる。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	日銀の金融緩和によって急激な円安が進む中、原材料価格の高騰により、地方の中小企業や、家計への影響が懸念されている。これらの影響を最小限にすべく、早急な対策をお願いしたい。